

目次

はじめに	4
主な特長.....	4
各部の名称と機能	5
エディット・ページ	9
ブラウザー機能.....	11
Menu	13
基本操作	15
ノブ	15
バリュー・スライダー	15
トグル・ボタン	15
チェックボックス.....	16
コンボ・ボックス.....	16
コンピューター・キーボード	16
クイック・スタート	17
パターンを鳴らす.....	17
パターンをエディットする.....	17
エディット・ページでパターンをエディットする.....	18
音色をエディットする.....	18
モーション・シーケンスで音色を変化させる	19
音色を保存する	19
パラメーター・ガイド	20
Synth	20
OSC	20
AMP	21
MOTION	21

EFFECT	22
エフェクト・タイプ・リスト	22
付録	24
故障とお思いのまえに	24
音が出ない.....	24
音がとぎれる / ノイズが出る.....	24
音が遅れる	25
コンピューターに接続している MIDI デバイスでコントロールで きない	25
仕様	26
動作環境	26
for Mac	26
for Windows.....	26
サポート・サービスのご案内	27
ご連絡の際に必要な情報.....	27
ご連絡の前に	27
お客様相談窓口	28

すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、コルグ・ソフトウェア・シンセサイザー ELECTRIBE R をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

主な特長

KORG ELECTRIBE シリーズは 90 年代末の登場以来、様々なスタイル、バージョンアップを繰り返しながら進化したコルグを代表するシーケンサー・シンセサイザー・マシンです。

ELECTRIBE R はその中でも、リズムを作るためのパーカッション・シンセサイザーを搭載したモデルです。アナログ・シンセサイザーの感覚で音を作れますが、高速な LFO を用いて周波数変調のような金属質な音を作り出すこともできます。

このマシンは 2010 年台初期に Apple 社 iPad の登場時にアプリとして再起動しました。このプラグイン化により、アプリ版で取り入れたアップデートのほか、ビートタイムの拡張やエフェクトの追加などを行っています。

- ELECTRIBE R 直系のシンセ音源を搭載
- 新たなエフェクト・タイプを追加し 15 エフェクト・タイプ
- 全体を見ながらパターンを組めるパターン・エディット・ページ
- MIDI ノートメッセージを使って、再生、停止、パターンの変更をコントロールし、トリッキーなシーケンスを演奏が可能です。
- MIDI OUT をサポート。パターンは本機で組んで、別の DAW ソフトウェアに読み込んで演奏することも可能
- MIDI エクスポートもドラッグ&ドロップで可能
- ER-1, ER-1 mk2, iELECTRIBE のすべてのプリセット・データ含む、736 プリセットを搭載

各部の名称と機能



1. ヘッダー



a. Menuボタン

メニューを表示します。13 ページの「Menu」

b. Homeボタン

メイン・ページを表示します。シンセサイザーのエディット、シーケンサーのエディットなどオリジナルのハードウェアと同様の操作感でビートをつくりこんでいくことができます。

c. Seqボタン

シーケンサー・エディット・ページを表示します。各パートのシーケンスを一望できる画面になっており、パターン全体の構成を編集する上で使いやすいユーザーインターフェイスになっています。9 ページの「エディット・ページ」

d. Editボタン

現在編集中のパターンのユーティリティ・メニューです。

Clear Sequence: 選択したパート (SYNTH1... CLAP, ACCENT, EFFECT, ALL) のシーケンスをクリアします。ALL を選択すると全てのパートのシーケンスをクリアします。1 からビートをつくるときに使用すると便利です。

Copy Steps: コピー元とコピー先を選択して、シーケンスのコピーを行います。モーション・シーケンスもコピーします。パターンを長くするときに使用すると便利です。

e. Sound Name

読み込まれているパターンの名前を表示します。名前をクリックするとブラウザー画面が表示されます。(→11ページ「ブラウザー機能」)

f. VOLUME

全体の音量を調節します。

2. ディスプレイ



a. Sound Name

読み込まれているパターンの名前を表示します。名前をクリックするとブラウザー画面が表示されます。(→11ページ「ブラウザー機能」)

b. TEMPO

テンポ(BPM)を設定します

c. LENGTH

パターンの長さを設定します。

d. SWING

偶数番目のステップの発音タイミングをパーセント(%)単位ですらします。50%でスイング効果はかかりません。75%で本来の発音タイミングに対して半拍分後ろにずれます。

e. STEP

通常16にして使用します。1レングス中のステップ数をコントロールします。BEATとSTEPパラメーターで1レングスの全体の長さが決まります。例えば、STEP 16で BEAT が1/16の場合、16分音符16個分の長さが1レングスとなり、すなわち1小節と等価です。

f. BEAT

パターンのビート(拍子)を設定します。

1/8 : 1ステップを 8分音符として演奏します。

1/16 : 1ステップを 16分音符として演奏します。

1/32 : 1ステップを 32分音符として演奏します

1/12 : 1ステップを8分3連符として演奏します

1/24 : 1ステップを16分3連符として演奏します。

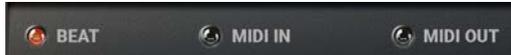
1/10 : 1ステップを8分5連符として演奏します。

1/20 : 1ステップを16分5連符として演奏します。

1/14 : 1ステップを8分7連符として演奏します。

1/28 : 1ステップを16分7連符として演奏します。

3. インジケーター



BEAT : TEMPO/tick に応じて点滅を繰り返します。

MIDI IN : MIDI In を受信したときに、点灯します。

MIDI OUT : MIDI を送信したときに、点灯します。

Note: AU プラグインでは MIDI OUT はご利用いただけません。

4. トランスポート



Rec ボタン : 点灯時、パートエリアのボタンのトリガー、ノブの値変更などをモーションとして内蔵のシーケンサーに記録します。

Stop ボタン : 内蔵シーケンサーを停止します。

Play ボタン : 内蔵シーケンサーを再生します。Sync Host 時には、DAW と同期するため、DAW のシーケンサーが再生していないときには再生しません。(Play ボタンを押しても再生待機状態になります)

SOLO ボタン： オンにすると、Synth エリアの各パートボタンでソロのオン、オフをコントロールできるようになります

MUTE ボタン： オンにすると、Synth エリアの各パートボタンでミュートのオン、オフをコントロールできます

5. エディット・エリア

各エディット・ページで表示されるパラメーターをエディットします。

各コントローラーをドラッグあるいはタップして、パラメーターを変更することができます。(20 ページの「パラメーター・ガイド」)

6. エフェクト・エリア

マスター・エフェクトを設定します。(22 ページの「EFFECT」)

7. ページ・エリア

◀ (inc)、▶ (dec) ボタンでステップ・エリアに表示するステップの範囲を切り替えます。



8. EFFECT、ACCENTボタン

EFFECTボタンをオンにすると、パート・エリアとステップ・エリアがエフェクト・エディット状態に切り替わります。

エフェクトをかける場合、パート・ボタンをオンにします。また、ステップごとにエフェクト効果をかける場合は、ステップ・ボタンでオン、オフを設定します。

ACCENTボタンをオンにすると、パート・エリアとステップ・エリアがアクセント・エディット状態に切り替わります。

パートにアクセントをつける場合はパート・ボタンをオンにします。また、ステップごとにアクセントをつける場合はステップ・ボタンで設定します。アクセント・レベルの編集はエディット・エリアのAMPのLEVELノブで行います。

9. パート・エリア

エディット対象のパートを選択します。

10. ステップ・エリア

現在表示のステップ範囲について、現在選択されているパートの発音タイミングを編集します。

エディット・ページ

パターンのエディットを行います。



1. ヘッダー

5 ページの「1.ヘッダー」参照

2. EXPORTボタン

現在エディット中のパターンを MIDI ファイルとして書き出します。こちらのボタンをマウスでドラッグし、お使いの DAW にドロップするだけで、パターンを DAW にコピーすることができます。本プラグインで一旦パターンを作り、DAW 上でさらに作り込むなどの場合に便利に使うことができます。

3. ページ・エリア

8 ページの「7. ページ・エリア」参照

4. パターン・エリア

パターンの長さ、ビート（拍子）、ステップ数、発音タイミングを設定します。
6 ページの「2. ディスプレイ」参照

5. パート・エディット

各パートの Output Level, Mute/Solo, Accent のオン / オフ、Fx のオン / オフを編集します。

アクセント・パートでは、アクセント・レベルを編集します。

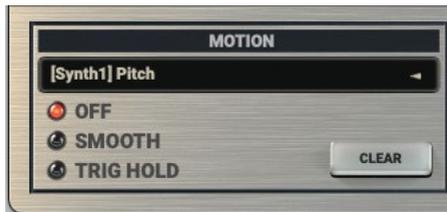
6. モーション・エディット

モーション・シーケンスを編集します。

コンボボックスからモーション・パラメーターを選択します。

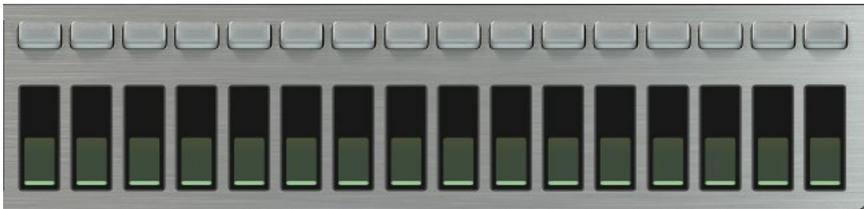
チェックボックスでモーションのかかり方を OFF、SMOOTH、TRIG HOLD から選択します。

CLEAR ボタンで、エディット中のモーションをクリアします。



上部ボタンで、ステップごとのモーションのオン / オフを設定します。

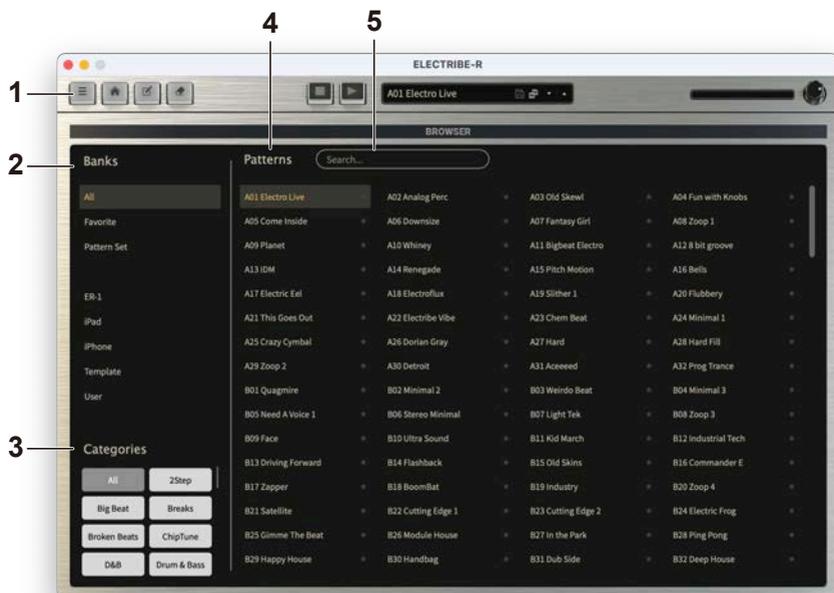
下部のスライダーで各ステップごとの値を設定します。



Note: モーションのかかり方はパートごとのパラメーターになります。パラメーターごとに変更することはできません。

ブラウザー機能

膨大な量の音色から必要なサウンドを素早く探し出せるように、カテゴリーでフィルタリングできるブラウザー検索機能を内蔵しています。



1. ヘッダー

5 ページの「1.ヘッダー」参照

2. BANKS

a. All

すべてのパターンを表示します。

b. Favorite

ブラウザでFavoriteに追加したパターンのみ表示します。

Favoriteにパターンを追加または削除するにはパターン・ネーム右の★をクリックします。

c. Pattern Set

パターンセットとは対応するMIDIノートに好きなパターンを登録し、連続的にパターンを切り替え、演奏できる機能です。最大で64個のパターンを登録することができます。また、シーケンスのスタート/ストップは、以下のノート・ナンバーで制御することも可能です。(スタート:59,ストップ:58)

d. Factory (R-1, iPad, iPhone)

ファクトリー・パターンを表示します。ファクトリー・パターンは上書きできません。

e. Template

パターン作成時に役立つテンプレートを表示します。テンプレート・パターンは上書きできません。

f. User

保存したパターンを表示します。ユーザー・パターンは以下のフォルダに保存されます。

[macOS]

~/Documents/KORG/ELECTRIBE-R/Presets/User

[Windows]

~/Documents/KORG/ELECTRIBE-R/Presets/User

3. Categories

選択した Bank からパターンを絞り込みたいときに使用します。カテゴリーに登録されているパターンのみを Patterns に表示します。

4. Patterns

演奏したいパターンを選択します。また、FavoriteやPattern Setの登録やパターンの情報を編集することが可能です。

右クリックをすることで、プリセット・パターンをFavoriteやPattern Setに追加できます。また、ユーザー・パターンの場合は情報の編集も行えます。

5. Search

コンピューターのキーボードで音色名を入力し、音色を検索します。

Menu



Sync To Host

ホスト (DAW) と本機のシーケンサー /BPMを同期して動作させるかを設定します。初期設定はOnです。

Pattern Grid

パターンを変更するときの変更タイミングをコントロールします。

初期設定は1です。

Off: 現在演奏しているパターンを演奏し終えた後、次のパターンに移動します。

1...16: 16分音符のタイミングで切り替わります。例えば1ならば16分音符、2ならば8分音符のタイミングで切り替わります。

Tempo Lock

テンポを固定して演奏するかを設定します。

Onの場合、パターン変更時にパターンの持つテンポ値を無視して現在のテンポのまま次のパターンを演奏します。Offの場合、パターン変更後、パターンのもつテンポ値にテンポが切り替わります。初期設定はOffです。

Note: Sync To Host が On のときは必ずホストのテンポに従います。

MIDI out on/off

MIDIノート・メッセージを本機から出力するかを設定します。初期設定は Off です。

Note: AU プラグインでは MIDI OUT を使用することはできません。

Output Gain

ELECTRIBE-R の出力を調整します。

Mouse Wheel Action

マウスホイールでパラメーターの変更を可能にします。

Save As Default ボタン

Save As Default ボタンを押すと、上記設定をファイルに保存し、次回の起動時に呼び出すことができます。

All Clear MIDI CC Assign

MIDI CC Learn で設定したパラメータ・コントロールと MIDI CC の対応づけをクリアします。

Set Original ER-1 MIDI CC Assign

ELECTRIBE-R 実機の初期設定の MIDI CC 設定を呼び出します。

Screen Size

スクリーンのサイズを変更します。変更した設定は次回起動時も保持されます。

Manual

ソフトウェアの説明書を表示します。

Acknowledgement

使用しているオープンソース・ソフトウェアの情報等を表示します。

About ELECTRIBE-R

ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

基本操作

各コントローラーやパラメーターはマウスを使って値を変えることができます。

ノブ

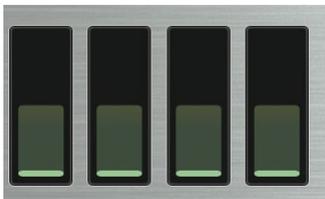
ドラッグして値を調節します。

ダブルクリックすると値が初期値に戻ります。



バリュー・スライダー

バリュー部分を上下にドラッグして値を調節します。



トグル・ボタン

クリックするたびに設定が切り替わります。



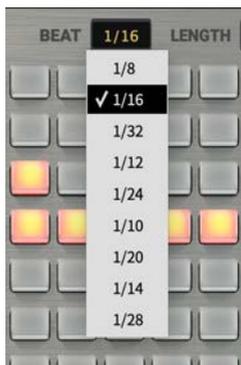
チェックボックス

クリックするたびに設定(on/off)が切り替わります。



コンボ・ボックス

クリックするとポップアップ・メニューが表示され、値を選びます。



コンピューター・キーボード

スタンドアローン版では、コンピューター・キーボードを使用して、演奏をすることができます。

スペース・キー：シーケンスの再生と停止を行います。

a：Synth 1 をトリガーします。

w：Synth2 をトリガーします。

s：Synth3 をトリガーします。

e：Synth4 をトリガーします。

d：HH Closed をトリガーします。

f：HH Open をトリガーします。

t：Cymbal をトリガーします。

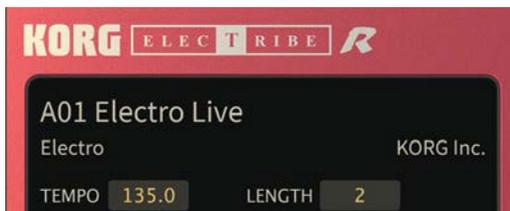
g：CLAP/Snare をトリガーします。

クイック・スタート

パターンを鳴らす

パターンを選んで、ELECTRIBE Rの音を鳴らしてみましょう。

1. ディスプレイの音色名を押して、ブラウザー画面を開きます。



2. リストから目的のパターンを選択します。
3. PLAY ボタンを押して、パターンを再生します。



4. STOP ボタンを押すとシーケンサーが停止します。

パターンをエディットする

パートボタンがオンになっているステップボタンの状態が表示されます。

1. エディットしたいパートをパートボタンで選択します。



2. ステップ・ボタンをオンにすると、そのステップが発音し、オフにすると消音します。再生中にオン、オフを切り替えることもできます。

エディット・ページでパターンをエディットする

各パートのステップ設定を一覧で行えます。

9ページの「エディット・ページ」を参照してください。



音色をエディットする

1. 音色をエディットしたいパートを選択します。
2. エディット・エリアのノブを回すと音色が変化します。



3. 音色を確認するには、パート・ボタンを押すと発音します。

モーション・シーケンスで音色を変化させる

1. MOTION の Smooth を選択します。



2. REC ボタンを押してから再生ボタンを押します。
3. パターンがループで演奏されている間、エディット・エリアのノブを回すと、その動きが記録されます。

音色を保存する

作成した音色を保存して、いつでも呼び出せるようにしましょう。

1. ヘッダーのディスプレイにある  (Save As) ボタンを押します。



2. 表示されるダイアログで、音色名を編集します。
3. 最後にダイアログ内の Save ボタンを押します。

パラメーター・ガイド

Synth



OSC

PITCH

音の高さ(音程)を調節します。

MOD DEPTH

ピッチ変調の深さと効果の方向を調節します。プラス方向(右)とマイナス方向(左)ではピッチ変調の効果が反転します。

MOD SPEED

ピッチ変調のスピードを調節します。

WAVE

オシレーターの波形をSin/Saw/Tri/Squから選択します。PCMパートの場合は、各パートのコンテキスト(HH Close、HH Open、Cymbal、Snare)にあわせて4つの波形から選択します。

MOD TYPE

ピッチ変調の波形を選択します。

AMP

DECAY

音が消えるまでの時間を調節します。

LEVEL

音量を調節します。アクセント・モードではアクセント・レベル (アクセントがオンのときの音量の強調の度合い) を調節します。パターンにアクセントを加えます。

PAN

音のステレオの定位 (音の位置) を調節します。

LOW BOOST

低音を強調します。パートの音のひずみ (クリップ) が気になるときはこのパラメーターを調節してください。このノブを最大にするとディストーション効果としても使うことができます。

MOTION



Motion Type

モーション・シーケンスには、次の3つの設定があり、各パートごとにかかり方を設定することができます。

OFF: モーション・シーケンスが無効になります。

SMOOTH: パラメーターの値が滑らかにつながり、スムーズに音色が変化します。

TRIG HOLD: そのパートの発音タイミングで、モーション・シーケンスのノブの値を保持して発音します。

EFFECT



TYPE

エフェクト・タイプ・リストにあるエフェクトから選択します。

Edit 1, Edit 2

各エフェクトの2つのパラメーターをコントロールします。

パラメーターについてはエフェクト・タイプ・リストを参照してください。

エフェクト・タイプ・リスト

TYPE	Edit 1	Edit 1
	Edit 2	Edit 2
LPF	CUTOFF	カットオフ周波数を調整します。
	PEAK	カットオフ周波数を調整します。
HPF	CUTOFF	カットオフ周波数を調整します。
	PEAK	カットオフ周波数を調整します。
Compressor	SENSITIVITY	コンプレッサーの感度を調節します。この値が大きいほど、小さなレベルの音が大きくなります。
	ATTACK	コンプレッサーが効くまでのアタックの速さを設定します。値を大きくするほどアタック感のエンベロープが遅くなります。値を小さくすると入力信号への応答性が高まります。
Valve Force	GAIN	音の歪みと太さの効き具合を調整します。
	LEVEL	出力レベルを調整します。

Distortion	GAIN	歪み回路の入力レベルを調整することで、歪みの効き具合を調整します。
	LEVEL	出力レベルを調整します。
Decimator	FREQ	右に回すとサンプリング周波数の低い音（ローファイ）、左に回すとサンプリング周波数の高い音（ハイファイ）になります。
	BIT	右に回すとビット数の少ない音（ローファイ）、左に回すとビット数の多い音（ハイファイ）になります。
Chorus/Flanger	SPEED	LFOのスピードを調整します。
	DEPTH	効果の深さを調整します。右に回すほど、コーラスからフランジャーの効果に変わります。
Talking Mod	FORMANT	フォルマントを調整します。右に回すほど、[a]-[e]-[o]-[u]-[i]とスムーズに変化していきます。
	OFFSET	フォルマント周波数の音程を設定します。
Short Delay	TIME	ディレイ・タイムを設定します。
	LEVEL	ディレイの深さとフィードバックの量を調整します。
BPM Delay	TIME	テンポに同期したディレイ・タイムを音符単位で設定します。
	LEVEL	ディレイの深さとフィードバックの量を調整します。
Slicer	SPEED	ゲートの周期を調整します。
	DUTY	ゲート周期内でのゲートの開いている時間を調整します。
Grain Shifter	SPEED	テンポに同期したサンプリング周期とサンプリング・タイムを音符単位で設定します。
	BALANCE	エフェクト音とダイレクト音のバランスを調整します。
Gate Reverb	TIME	ゲートの解放時間を調整します。値を大きくするほど、ゲートが解放され続け、残響音が聴こえ続けます。
	LEVEL	残響音のレベルを調整します。
Echo Verb	TIME	残響の時間を調整します。
	LEVEL	残響音のレベルを調整します。
Hall Reverb	TIME	残響の時間を調整します。
	LEVEL	残響音のレベルを調整します。

付録

故障とお思いのまえに

故障とお思いになる前に、次の項目を確認してください。

音が出ない

- メニューの System > Preferences... を選択して表示される “Audio/MIDI Settings” が正しく設定されていますか？
- Pattern Level、音量に関するパラメーターが 0 になっていませんか？
- コンピューター側で音が出力される設定になっていますか？
Windows の場合は、コントロール パネルの [サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ] で確認してください。
macOS の場合は、[システム環境設定] → [サウンド] と、アプリケーション・フォルダ→ユーティリティ・フォルダ→ [Audio MIDI 設定] → [オーディオ装置] を確認してください。
- コンピューターでサウンド・カードを使用している場合、サウンド・カードが正しく設定されていますか？
- コンピューターにオーディオ機器を接続している場合、オーディオ機器側が音の出る設定になっていますか？

音がとぎれる / ノイズが出る

- 使用されているコンピューターの CPU への負荷が高い場合に、音切れやノイズが発生します。このような場合は、次のことを実行してみてください。
 - 他のアプリケーションを起動している場合は、それを終了してください。
 - 使用しているシンセサイザーの最大同時発音数を減らしてください。
 - メニューの System > Preferences... を選択して表示される “Audio/MIDI Settings” で、オーディオのバッファ・サイズを大きくしてください。ただし、大きくしすぎると発音の反応が遅くなります（レイテンシーが大きくなります）。

音が遅れる

- レイテンシーは、サンプル数×バッファ数で決まります。メニューの System > Preferences... を選択して表示される “Audio/MIDI Settings” で、この数ができるだけ小さく、かつ安定して動作するように “Audio buffer size” と “Sample rate” を設定してください。

コンピューターに接続している MIDI デバイスでコントロールできない

- コンピューターと MIDI デバイスは正しく接続されていますか？
- 接続した MIDI デバイスがコンピューターに認識されていますか？
 - Windows の場合は、コントロール パネルの [サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] → [ハードウェア] で確認してください。
 - macOS の場合は、アプリケーション・フォルダ→ユーティリティ・フォルダ→ [Audio MIDI 設定] →の [MIDI 装置] で MIDI デバイスが認識されているかを確認してください。
- メニューの System > Preferences... を選択して表示される “Audio/MIDI Settings” が正しく設定されていますか？

仕様

プリセット・パターン：

KORG collection ELECTRIBE-R 新規パターン：128

ELECTRIBE-R パターン：256

ELECTRIBE-R mkII パターン：192

iELECTRIBE for iPad: 64

iELECTRIBE for iPhone: 64

テンプレート・パターン：32

スタンドアロン動作、VST3/AU (v2)/AAX プラグイン・インストゥルメント対応

動作環境

for Mac

OS：macOS 10.14 Mojave 以降（最新アップデート）

CPU：Apple M1 以上、Intel Core i5 以上（Core i7 以上を推奨）

メモリ：8GB RAM 以上（16GB RAM 以上を推奨）

ストレージ：8GB 以上の空き容量（SSD を推奨）

その他：インターネット接続

プラグイン：AU (v2)、VST3、AAX (64bit プラグインのみ対応)

for Windows

OS：Windows 10 64bit* 以降（最新アップデート）

* 32bit 環境はサポートしていません。

CPU：Intel Core i5 以上（Core i7 以上を推奨）

メモリ：8GB RAM 以上（16GB RAM 以上を推奨）

ストレージ：8GB 以上の空き容量（SSD を推奨）

その他：インターネット接続

プラグイン：VST3、AAX (64bit プラグインのみ対応)

※ 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。



サポート・サービスのご案内

ご連絡の際に必要な情報

ご連絡の際、以下の情報が必要になります。これらの情報が確認できない場合、サポート・サービスをご提供できませんので、必ずご提示ください。

- お名前
- 製品名とバージョン
- ご使用のデバイス名
- OS のバージョン
- ご質問内容（できるだけ詳細にお書きください）

ご連絡の前に

ご連絡の前に、本マニュアルまたは KORG app Help Center (<https://support.korguser.net>) にご質問内容に対する回答がないかご確認ください。デバイスの基本的な操作方法、一般的な曲や音色の作成方法など、当社製品以外に関するご質問については、お答えできませんのであらかじめご了承ください。

お客様相談窓口

web でのお問い合わせ：<https://support.korguser.net/hc/requests/new>

電話でのお問い合わせ：



0570-666-569

一部の電話ではご利用になれません。固定電話または携帯電話からおかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00（祝日、窓口休業日を除く）

電話でのお問い合わせの際には、ご質問の製品が操作できる環境をご用意ください。

ご質問の内容やお客様の使用環境によって生じる問題などについては、回答にお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

株式会社コルグ

本社：〒206-0812 東京都稲城市矢野口 4015-2

© 2022 **KORG INC.** www.korg.com

Published 11/2022